



9月 夏に蓄えた力を発揮するときです

国の緊急事態宣言に伴い、9月1日(水)から9月12日(日)まで学校は臨時休業となります。そのため、その間の学習指導等はオンラインを活用しますので、各自しっかりと対応してください。皆さんは、夏休み中の課外授業や課題学習によって蓄えた力を十分に発揮し、9月にはこれからの進路活動に向けて大きく飛躍してほしいと思います。

さて、3年生は既に大学等の総合型選抜入試や公務員試験が始まっており、9月16日からは民間企業の就職試験が始まります。推薦型選抜や一般選抜の入試も近づいてきました。第一志望合格を目指して全力で取り組んでください。1・2年生も秋以降の学習内容は一層高度なものとなります。部活動や行事との両立を図りながらそれぞれの目標に向かって努力を継続してください。

《 9月の進路関係行事 》

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1日(水)～3日(金) | 就職・公務員希望者面接指導(3年) |
| 2日(木)～3日(金) | 大学入学共通テスト出願ガイダンス(3年) |
| 18日(土) | 土曜課外④(1～3年) |



☆大学入学共通テストについて

9月初めより2022年度大学入学共通テストの受験案内が配付されます。ガイダンスを実施後、出願準備に入りますので、受験者は説明をよく聴いてミスがないよう十分注意し、提出期限を守って出願してください。共通テストは出願時期が早く、在籍する高校から一括して出願します。仮に総合型選抜(AO入試)や学校推薦型選抜での受験だけを考えていたとしても、それらの合格発表前に共通テストの出願が締め切られますので、万が一に備えて一般選抜の準備が必要になります。また、合格内定後の学力の維持・向上の面から、そして進学後には一般選抜での合格者とともに大学の授業を受けることから、共通テストの受験は重要になります。総合型選抜・学校推薦型選抜希望者も必ず受験してください。

① 志願票記入

○記入ミスのないよう必ず下書きをする。

○受験教科等を出願時に登録する必要がある。特に地歴・公民(地歴・公民は1教科として扱う)、理科については受験科目数や科目選択方法を1つ選んで記入する。

② 検定料払込(払込期間 9月1日(水)～10月6日(水) ※払込は志願票学校提出日までに済ませる。

○検定料

- ・3教科以上受験…18,000円
- ・2教科以下受験…12,000円
- ・成績通知手数料…800円

③ 志願票提出

○出願期間 9月27日(月)～10月7日(木)

※志願票は学校に提出する。⇒学校への提出日:9月15日(水)・16日(木)

○確認はがきで登録内容を確認し、志願票の受験教科及び受験科目数の訂正が必要な場合は大学入試センターへ届け出る。(10月下旬)

○受験票等の送付(12月中旬)

☆就職試験について

就職希望者は、7月に求人票が公開されてから企業研究・会社見学をし、先日の就職校内選考会を経て応募先が決定しました。今後は試験や面接の対策を行い、しっかりと準備を整えて入社試験に臨んでください。

☆ 2年生・1年生にとって今大切なこと

〈2年生〉 7月の進研記述模試の結果を分析し、目標を再設定して努力を積み上げてください。模試における志望校の記載は、目標を定め客観的なデータを得るために重要です。11月実施の記述模試に向けて、大学のパンフレットやWebページで情報を集めて真に学びたい学問系統を固め、志望校の候補を増やしておいてください。そして、返却された成績個票から自分の学力の構造や問題点、課題をしっかりと分析し、今後の学習の指針としてください。

〈1年生〉 残り2年半の学習の軌跡をしっかりと残していきましょう。大学入試改革により、各入試では受験生を多面的に評価するために、各教科の評定や部活動・特技・取得資格だけでなく3年間の学びの過程自体が問われることになり、効果的で積極的な学習と継続した努力とが求められます。そのために、予習→授業→復習の学習サイクルを確立し、手帳などを利用して学習の軌跡（いつ、何を、どう、どのくらい学習してきたか）を残してください。それによってテストの点数だけではわからない成長や、自分の弱点が形成された過程を知ることができます。

☆ 進学情報 ～志望校の選び方～

受験生にとって、受験勉強と同様に大切なのが「志望校選び」です。大学の数は年々増加し、学校基本調査（文部科学省）によれば、2020年度の大学数は795校にのぼります。一方、18歳人口は減少傾向にあり、数字上では希望者全員が大学に合格できる「全入時代」を迎えています。大学入学自体の価値は相対的に小さくなり、「どの大学で、何をどう学んだのか」がますます問われることになりました。

志望校の選択は、その後のキャリア形成に大きな影響を与えることになります。「この科目は苦手だから」「成績がこのくらいだから」などという消極的な理由で志望校を選択してしまうと、後々後悔をすることになるでしょう。進路を決めるのは簡単なことではありませんが、自分は何に興味があって何を学んでいきたいのか、どんな職業に就きたいのか、その目標のためにどのような学部・学科を目指せばいいのか、自分自身の方向性をしっかり考えてみるようにしましょう。

〈志望校選びのポイント〉

① 自分の将来を考える

志望校・志望学部を選ぶ前に最初にするべきことは、自分の将来の進むべき方向について真剣に考えることです。できれば、比較的時間に余裕のある高1から高2の間に、「何を学びたいのか」「どのような職業に就きたいのか」をじっくり考えてみるとよいでしょう。興味のある学問分野や職業に関する書籍を読んだり、インターネットで関連サイトを閲覧したりして、積極的に考えるための情報を収集しましょう。

② 進みたい学部・学科を見つける

自分の将来の方向性がある程度見えてきたら、目標を達成するために必要な専門知識やスキルを学ぶことができる学部・学科を調べてみましょう。看護師や建築士など、職業や資格と専門の学部が直結している場合はわかりやすいですが、そうでない場合は、まず大学にどんな学部・学科があるかを調べて、その中から自分の目標に適した学部・学科を探していくとよいでしょう。

③ 個別の学校を調べる

学びたい分野や学部・学科が決まったら、受験校を決めることになります。ただし、入試難易度や知名度だけで学校を選ぶと入学した後で後悔することにもなりかねません。大学を中退する原因の一つが、学生と大学とのミスマッチによるものと言われています。受験前に自分の目的や性格に合った学校かどうか、オープンキャンパスなどを利用してあらかじめ自分自身の目でしっかりと確かめることが重要です。

（選択のポイント）

- ・カリキュラムの特徴
- ・教員の研究内容
- ・就職や大学院進学状況
- ・学費および奨学金や学生支援の充実度
- ・キャンパスの雰囲気、施設・設備の充実度
- ・学生数（入学者数・退学者数）
- ・留学プログラムの充実度

（参考：東進進学情報）